

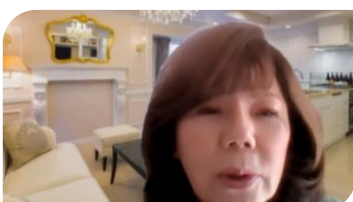
まちづくり市民懇話会

とことん懇話会

22

TOPICS

『防災』をテーマに、前回は、自身ができる具体的な役割・関わりについて計画を立て、内容を発表しました。
第22回目の今回は、計画に基づいて実践した取組内容を発表し、実践から得た課題や気づきについて、みんなで共有しました。



自身が実践した
取組を発表！

到達目標

『防災』に関する、自身が実践した取組（具体的な行動）の結果について発表し、みんなで共有しましょう

なまえ

実践したことや取組経過

「気づいたこと」や「今後取り組んでみたいこと」など

安野 眞二 さん

①近くのスーパーに行き、どういうものが非常食になるのか、探してみました。日常的に普通に使用しているものでも、使い方や考え方によっては防災グッズになるのではないかという視点も持って探してみました。

①防災グッズなどの準備をしていますが、いざとなった時にそれを使えるよう、常に災害に対して、想定外をイメージできるよう、意識を持って、生活することが大事であると感じました。

松谷 敬一 さん

①もし何かあった時の集合場所を近くの公民館にしようということ、家族と話しました。妻の足が悪いので、歩けなくなることを想定して、手押し車、杖の購入を検討し、子どもたちとの連絡手段の確認もしました。非常用物品を点検し、電池の確保、水の購入、冷凍食品・お菓子類を追加しました。また、身の回りの整理をし、断捨離などを行い、エンディングノートを書きました。

②町内会の福祉委員をしており、20名程の高齢者を集め、健康確認や要支援者の現況情報を整理しました。

福本 美代子 さん

①押し入れに入れていた非常食をキャリーバッグに詰め換え、また蓄電池を購入しました。

②家族の集まる場所を決めておこうと思い、息子と話をしました。

②一緒にいる時は一緒に逃げ、ばらばらの時は場所を決めるのではなくて、とにかく逃げることになりました。もう一度話し合っ、カード作成なども行いたいと思います。

笹部 美千代 さん

①災害時の避難経路を実際に歩いて確認しました。

②備蓄品の確認をしました。

①その道中には急な坂があったり、細い道があることに、実際に歩いて気づくことができました。

②消費期限の過ぎている物が確認できました。家族で、これからは毎年この時期に備蓄品の確認をしようということに決まりました。

小門 晃 さん

①非常用持ち出し品をチェックし、不足品の補充をしました。

②災害時に集まれるように家族の連絡先と集合場所のメモを準備しました。

③町会の災害時の避難行動、要支援者の安否確認方法と支援方法を町会に確認し、情報収集しました。

①携帯電話の容量不足、充電器のチェックを実際にする必要があったと思いました。

③避難行動要支援者の支援について、自分自身勉強の必要があったと思いました。

大原 孝道 さん

①災害の備えとして、枕元に私服を準備しました。

②正月に実家に帰った時に、防災について話をしました。

③神戸市の震災体験者に話を聞きました。

②実家の近くには小学校（避難所）があるが、両親はそこまで歩けないと思うので、その対策をとる必要があると感じました。また、常に車のガソリンを満たしておくことや、「きしまる」のダウンロードなども必要と思い、行いました。

③常時防水性の高いタオルを用意する、避難時の服はコンパクトにまとめ非常用においておくことなどを実践していることがわかりました。

全体：普段から家族などで話をすることが必要だと感じています。

上月 正洋 さん

①災害ボランティアネットワーク会議が行われており、デジタル化を進め、発災後のボランティアの募集や支援、災害者との結びつきの方法について検討しています。

①各種機関等との関係性は出来てきているが、我が事になっているかはまだまだ難しいところです。コロナ禍での懇話の場づくり、関係の強化も含めて新しい仕組みづくりも必要だと思いますし、実際の訓練、また救援活動に使用する物の置き場所など、様々な検討課題がたくさんあるなと考えています。

参加者のみなさんから、「実際にできたこと」、「取組の経過」、「実践して気づいたこと」、「考えられる改善点」、「できなかった場合はその理由」などについて発表していただきました。

※一部をご紹介します。

奥村 みほ さん

①家族で災害時の行動を話し合い、非常用持ち出し品の一覧と家庭での備蓄品の一覧をできるだけコンパクトにまとめ、自分なりのプランを作成しました。

①場所によって災害リスクが異なり、避難時の持っていくべきものの選択が難しいと感じました。非常用持ち出し品や家庭の備蓄品を皆さんで考え、岸和田市民の最善の非常用持ち出し品が準備できれば良いなと思いました。

林 由一さん

①自助の行動について、2週間分の食べ物、飲み物、トイレ、ラジオなどが備わっているかの確認をしました。

②家族2人で、二色浜から自宅まで約10キロ歩いてみました。

①今後、共助の行動として、防火管理者の資格を持っているので、マンション200世帯での避難訓練などができればと思っています。また、自宅の電気自動車を含め、岸和田市民の電気自動車所有者を確認し、災害時に蓄電池代わりに貸出してくれる人のネットワークづくりが出来ればなと思います。

②災害時には交通網が麻痺するため、10キロ程度は歩ける体力づくりが必要だと思っています。

小関 美喜子 さん

①災害用伝言ダイヤルに「171」を体験してみました。

②防災カードを作成しました。

③出かけるときに最低限の防災用品を持参します。

④「きしまる」をダウンロードしました。

①災害時の電波状況により、つながらない可能性があることに気づきました。

②身元不明となり皆さんに迷惑をかけないように衣服に名前などを書いておこうと思いました。

④アプリを起動するのに時間がかかることがわかりました。

谷口 優衣 さん（桃山学院大学）

①ハザードマップについて考え、兄と話をしました。

①家族全員がハザードマップについて知り、全員が意識を持つことが大切であると感じました。

七野 由佳 さん

①家族がどこにいても対応することができるようリスクの把握とシミュレーションをしました。

②防災グッズの確認をしました。

③防災カードの確認をしました。

④子どもが学校にいるときに被災した時の動きについて考えました。

①地震を意識していたが、ハザードマップで自宅周辺を見ると、洪水にも気をつける必要があることがわかりました。

②消費期限が過ぎているものもあり、管理できるようにリスト作成の必要があると思いました。

③避難場所が変わったこともあり、見直しをしました。子どもと離れ離れの状態で被災した時のために、子ども用の読みやすいカードを作りました。子どもが安心できるように親の顔を入れたりしてもいいかなと思いました。

④子どもが学校で被災した時の学校の対応が知りたいと思いました。

朝井 厚子 さん

①災害時にどんな助け合いができるかを考えるため、町会内にどんな人が住んでいるのかを確認したいと思い、町内のメンバーとアンケートを作成しました。また、アンケートの配布を町会役員会に提案しました。

①アンケート作成の議論の中で、年配者が多くなっていることがわかり、また、年配者から、緊急時や救急時に使えるよう、管理組合にカギを預かってほしいといった話ができました。

沖田 恋騎 さん（桃山学院大学）

①非常食を実際に作り、味の確認をしました。

①思ったより作るのに時間がかかることがわかりました。また、お湯で作るものであっても、お水でも食べることができるとわかりました。次は友人などと一緒にやってみて、一緒に学べたらと思いました。

丸山 菜々瀬 さん（桃山学院大学）

①実際に避難所まで歩いてみることで、避難場所と時間を決めること、家族の電話番号を控えておくことについて実行しました。

①避難所まで近いことがわかり、また、災害時の未知の状況を考慮し、避難場所と避難経路をもう1か所確認しておこうと思いました。

■開催概要

第22回：令和4年 1月16日（日）

場 所：岸和田市立福祉総合センター

参 加 者：市 民：現地 7名 オンライン 9名

若手職員：現地 4名

桃山学院大学：学生 3名

議 題：1. 具体的なアクションについて（取組結果の振り返りと発表）

2. 次回について

とことん2

次回、第23回（1/30の書面開催）では、事務局で作成を進めている

- ① 次期総合計画基本構想（素案）
- ② 次期総合計画基本計画（骨子案）
- ③ 都市計画マスタープラン（全体像・試案）

の、それぞれの内容についての案を提示しますので、ご意見をいただきたいと考えています。

第22回では、後日送付する資料の概要や見方について、説明しました。

とことん3

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



市民

- ・ みなさんが防災に対して色々工夫して取り組んでいることを知って、とても刺激を受けました。
- ・ 町会の仲間と、着れなくなった服で防空頭巾を作ろうと話をしています。
- ・ 自分1人だけだと多くの実践をすることは大変ですが、参加者それぞれの実践したことや改善点を知ることができ、非常にためになりました。
- ・ 頭の中で考えるだけでは実際に災害が起こった際に、イメージ通りに動けるとは限らないので、行動して事前に試しておくことの重要性を認識できました。



若手職員

など

■今後の予定

【第23回】令和4年 1月 30日（日）書面開催

【第24回】令和4年 2月 13日（日）

【第25回】令和4年 2月 27日（日）

基本構想案、基本計画素案
・都市計画マスタープラン試案について